

「エプコリタマブ治療パス」患者用

※患者さんには、クリニカルパスに基づいた医療を行います。

病棟 室 様
説明年月日： 年 月 日

入院日		(/) ~ (/) 治療開始 ~ 退院日まで(約30日前後)
治療	指定された時間に入院受付にご来院ください	★抗がん剤の治療を始めます★ 使用するお薬は「エプキンリ皮下注射」です。おなかかふとももの皮下に注射します。 注射した部位を記録します。同じ部位に続けて打たないようにします。 1サイクルは28日間です 10サイクル目までは、サイクル毎で使うお薬の量や注射頻度が変わります。 注射を打つ前には血液検査の結果や、体調を確認します。 その結果によっては、医師の判断でお薬をお休みしたり、 延期・中止することもありますのであらかじめご了承ください。 皮下注射のスケジュール（治療開始日を1日目とする） 1サイクル：1、8、15、22日目（入院の日程は医師と相談） 2-3サイクル：1、8、15、22日目（2サイクル目以降は入院か外来か医師と相談のうえ決定します） 4-9サイクル：1、15日目 10サイクル以降：1日目
検査 処置	患者識別ベルトを 装着します	定期的に血液検査を行います 医師が必要と判断した際には尿検査、レントゲンなどの検査が入ることがあります
内服 点滴	- 持参薬とお薬手帳をお持ち下さい - 薬剤師が確認します	- 副作用の予防薬：皮下注射30分～2時間前に医師の判断で副腎皮質ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、解熱・鎮痛剤を内服または注射します - 皮下注射翌日～3日間副腎皮質ホルモン剤を内服または注射します
副作用		【起こる可能性のある症状】 発熱、寒気、呼吸が苦しい、めまい、ふらつき、脈が速い、乱れる、血圧が低い、 鼻血、歯茎の出血、あざがでやすい、だるい、疲れやすい、咳、息切れ、 力が入らない、言葉がでない、ふるえ、けいれん、昼間に眠気強い、読み書きができない、意識の低下、物忘れなど 注射部位の痛み・発赤・腫脹・熱感 ※症状が発生した場合には、お知らせください。状況にあわせて対応します
安静	特に制限はありません、トイレ歩行はできます ※抗がん剤注射後は、ベッド上で安静にお過ごしください	
清潔	特に制限はありません（シャワー浴ができます）	
食事	食事制限はありません ※皮下注射後1～2日は、水分を多めにとって下さい	
説明	- 入院中の注意事項など看護師より説明をします - 医師より治療について再度説明をします。 - 必要な書類や同意書にご署名をいただきます	検査結果などは都度医師より説明します - エプキンリ連絡カードをお渡しします - 次回外来の予約票をお渡しします - 退院日は10時頃お会計の案内があります - 高額医療制度や医療費控除の対象になります。役所等でご確認ください。

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度個別に説明致します。 東京女子医科大学病院 2026年6月作成